

岩洞ダム建設に懸けた者たち

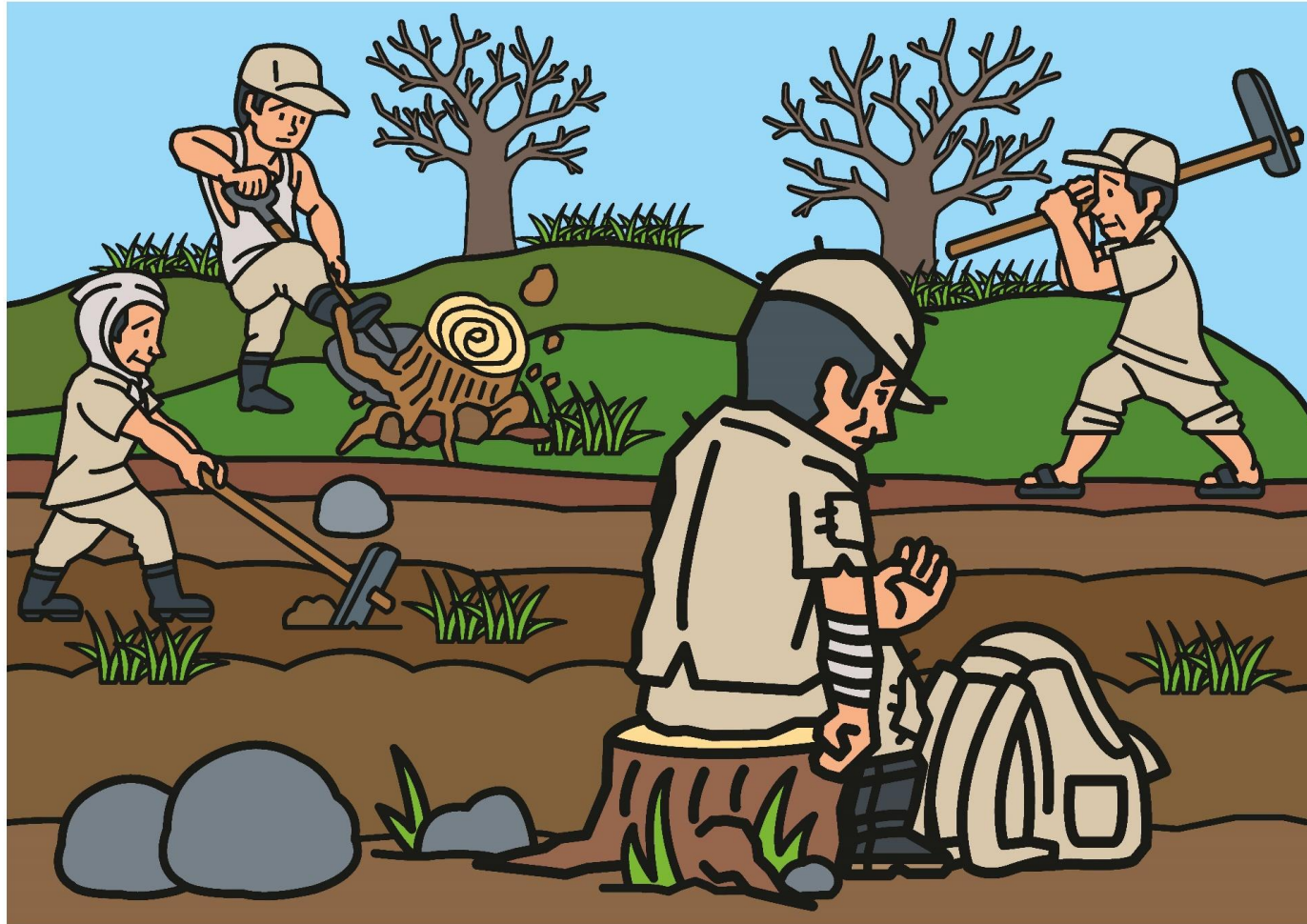


【ナレーション】

岩手で一番高い山、岩手山。その麓には、広い大地がありました。

明治26年(1893年)、その場所はたくさんの馬を育てる牧場となりました。多いときには9万頭もの馬がいました。

岩洞ダム建設に懸けた者たち



【ナレーション】

時は流れて昭和20年(1945年)。戦争が終わると、兵隊さんたちとその家族が住む場所を求めて、岩手山の麓にやってきました。しかし、仕事もなければ、食べるものもほとんどありません。みんなは木を切り、根を掘って少しの田畑を作り生活していました。

岩洞ダム建設に懸けた者たち



【ナレーション】

当時の食べものといえば、アワやヒエ、大豆カス、トウモロコシの粉、または痩せたジャガイモやカボチャなど、粗末なものばかりでした。服はつぎはぎだらけ。この辺りには、まだ電気も通っておらず夜はランプの灯りで生活していました。

岩洞ダム建設に懸けた者たち



【ナレーション】

岩手山の麓に暮らす人たちは思いました。「もっと田んぼと畑があれば、お米や野菜を育てて食べることができるのに…。」

どこかに良い場所はないだろうか。探しているうちに、馬の牧場を見つけました。その面積は、約420ヘクタール。「これだけ広がったら、たくさんのお米と野菜が作れるぞ。」

しかし、問題がありました。お米や野菜を育てるためには、たくさんのお水が必要です。「この場所では川が低くて水を引くことが出来ないか…。」

岩洞ダム建設に懸けた者たち



【ナレーション】

せっかく広い土地があるのに、水がない。みんな困ってしまいました。

その時、「こんな方法はどうだろう？」と、手をあげる人がいました。柳村兼吉(やなぎむらかねきち)さんです。柳村さんは、「岩手山の東側、標高の高い藪川にある丹藤川(たんどうがわ)と7ヵ所の澤水を使って大きなダムをつくれぬか。そこから水を引くことができるのではないか。」と考えました。

岩洞ダム建設に懸けた者たち



【ナレーション】

しかし、ダムをつかって水を引くには膨大なお金がかかります。それに、ダムから岩手山の麓までは約16キロメートルも離れています。とてつもなく大きな計画だったので、政治家の人たちは、「こんな工事はできっこない」と反対しました。

岩洞ダム建設に懸けた者たち



【ナレーション】

それでも、柳村さんは諦めませんでした。「みんなのために、どうしてもダムをつかって水を引きたい！」国会議員や国のお役人さんがいる東京に行き、お寺に泊まりながら、何度も何度もお願いをしに行きました。

昭和27年(1952年)、柳村さんたちの熱意が通じダムや水路などをつくる工事が行われることが決まりました。そして、ダムの水を利用した発電所も併せてつくられることになりました。柳村さんも、岩手山の麓の人たちも、とても喜びました。

岩洞ダム建設に懸けた者たち



【ナレーション】

昭和27年(1952年)に、工事が始まりました。ダムは「ロックフィルダム」といって、土や岩石を盛り立てる方法でつくることになりました。

その頃もトラックやブルドーザーはありましたが、今よりも機械が小さく、ほとんどが人の手による作業でした。工事には2000人以上の人たちが関わりました。

岩洞ダム建設に懸けた者たち



【ナレーション】

工事の場所に行くためには、車を降りてから、かなり歩かなければなりませんでした。冬になると藪川はとても寒いところでマイナス20度にもなり、飲み物やお醤油が凍ってしまうこともありました。たいへんな思いをしながらも、完成のためにみんなで汗を流しました。

岩洞ダム建設に懸けた者たち



【ナレーション】

計画の見直しもあり、4年くらい工事がストップしたこともありましたが、昭和36年(1961年)、たくさんの人たちのがんばりのおかげで、ダムが完成しました。工事が始まってから、8年後のことでした。

ダムは、「岩洞(がんだう)ダム」と名づけられました。

岩洞ダム建設に懸けた者たち

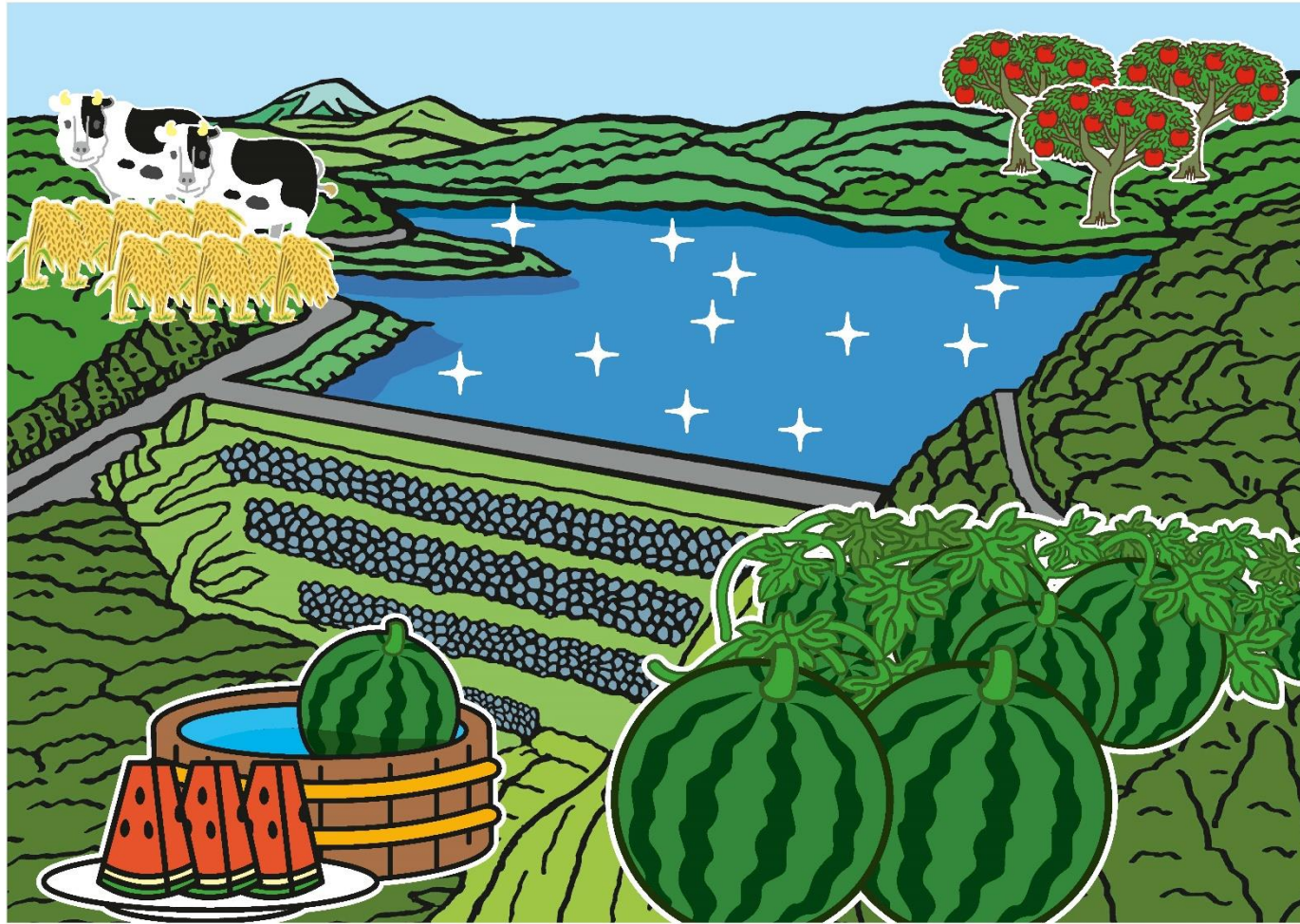


【ナレーション】

岩洞ダムに溜められた水は、山を掘り水路とトンネルを作って北上川や東北本線を横断し、昭和37年(1962)年5月7日に田んぼや畑まで水が引かれました。

「やったぞ。これでたくさんのお米や野菜をつくることができる。」みんな喜びました。その中でも、一番嬉しかったのは柳村さんだったはずですが、しかし、柳村さんは完成一週間前に、病気のため亡くなってしまいました。

岩洞ダム建設に懸けた者たち



【ナレーション】

岩洞ダムの水が引かれるようになってから、50年以上経ちました。

岩手山の麓には、たくさんの田んぼと畑がつくられました。その面積は、全部合わせると3000ヘクタールもあります。お米と野菜の他にも、りんごやすいかの栽培や、酪農なども行われるようになりました。

農業が盛んになったことで、そこに住む人たちも増えました。

今では岩洞ダムのおかげで、たくさんの人たちが幸せに暮らしています。

おいしい